

リーディングDXスクール指定校
西泊中学校

10月の
実践

ICTを活用した授業実践

英語 Unit4 Be Prepared and Work Together 3年生
現在分詞の形容詞用法を使えるようになろう

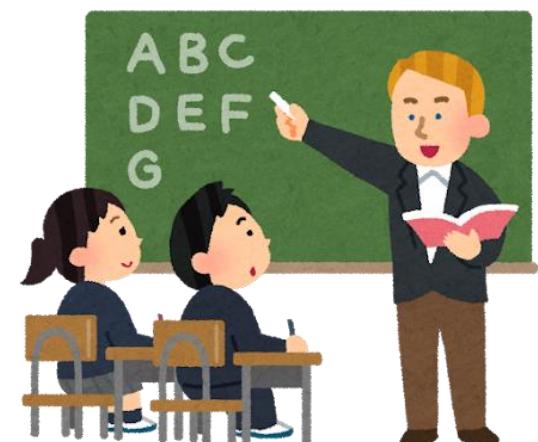
社会 現代の民主政治 3年生
選挙の課題解決のためのアイデアを考える

英語

3年生

Unit4 Be Prepared and Work Together

現在分詞の形容詞用法を使えるよう
になろう

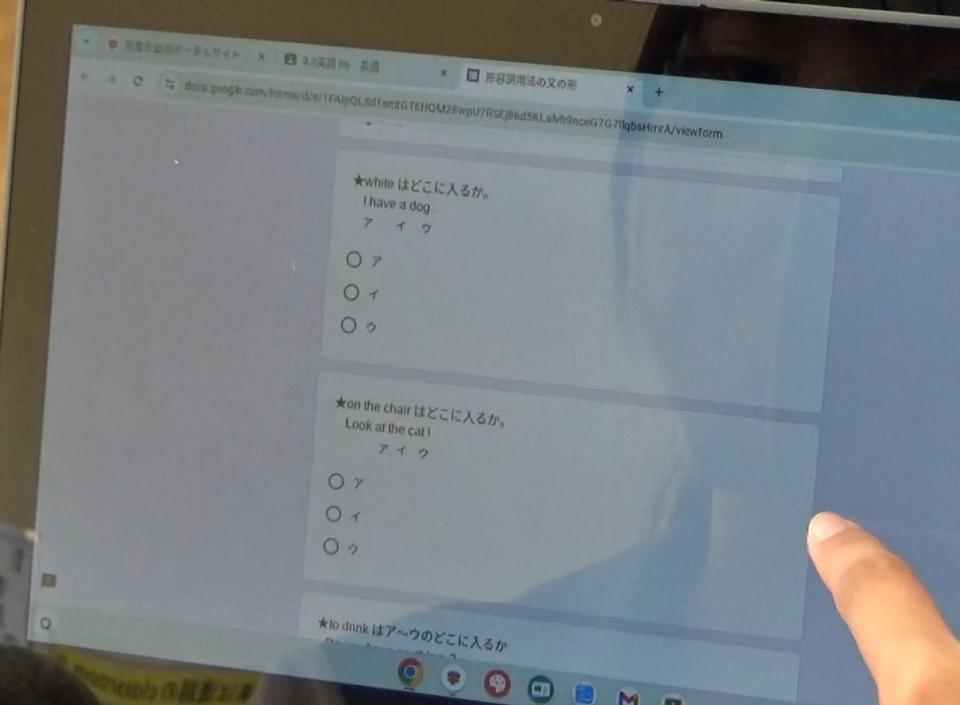


授業について

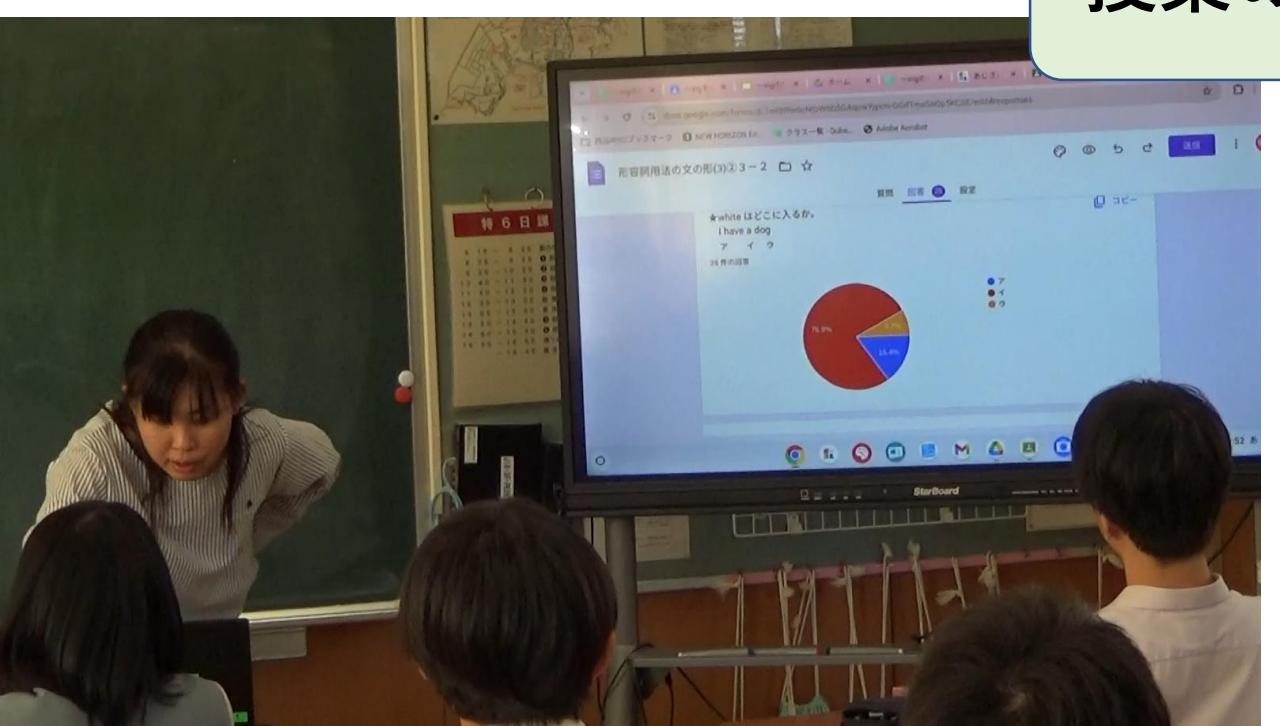
単元名	Unit4 Be Prepared and Work Together Read and Think①
評価規準	○知識・技能: 現在分詞を用いた文の理解をもとに、名詞に情報を加えて書くことができる。 ○主体的な学習態度: 人物を分かりやすく説明するために、簡単な語句や現在分詞を用いて書こうとしている。
評価基準	〈おおむね満足できる状況(B)〉 ○知識・技能: キュビナの練習問題の正答率が60%以上 ○主体的な学習態度: 聞いた英文の形を参考にして、自分が表したい内容を英文にすることができる。
基準達成目標	おおむね満足できる状況(B)以上の生徒を70%以上となることを目標とする。
Chromebookを使った学力向上の手立て	○導入でフォームによるレディネスチェックを行って弱点を把握する。解説ではスライドを使って視覚に訴えながら、本時の学習と既習内容の繋がりを意識させる。 【知識・技能の定着】 ○班の仲間と協力しながら、ドキュメントに3文以上書くことを目標に英文を書く。 【協働的な学び】【主体的な学び】 ○作った英文の中から1文を選んで、スライドに書き写してクラスルームに提出させる。電子黒板を使って全体で共有し、本時の学習ポイントを確認する。【知識・技能の定着】 ○終末においてキュビナの問題を解き、自分の理解度を確認させる。 【主体的な学び】【知識・技能の定着】

本時の流れ

	学習活動	指導上の留意点	Chromebookの活用
導入	<ul style="list-style-type: none">Googleフォームの質問に解答する。本時のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。	解説において既習内容と本時の学習内容の繋がりを意識させる。 めあて：現在分詞の形容詞用法を使えるようになろう。	Googleフォームで形容詞用法に関するレディネスを図る。
展開	<ul style="list-style-type: none">教師の対話を聞いて、その内容から形容詞用法における現在分詞の働きに気づく。現在分詞を用いた文を聞いて、人当てゲームを行う。班で協力して、現在分詞を用いた文ができるだけ多く作る。その中から1つ選んで、Googleスライドに書いて提出する。	<p>語順を意識させる。</p> <p>楽しい雰囲気で英文に慣れさせる。</p> <p>教師に共有をかけさせる。</p> <p>クラスルームに提出させる。</p>	<p>Googleスライドで視覚に分かりやすく説明する。</p> <p>Googleドキュメントに記入させる。</p> <p>Googleスライドで文字を見やすく提示する。</p>
終末	<ul style="list-style-type: none">各班の英文を見て、現在分詞の形容詞用法の働きや文の意味を確認する。キュビナの問題を解く。	キュビナの解答状況を確認し、理解度を把握する。	各班の英文を電子黒板の画面で確認する。



授業の様子





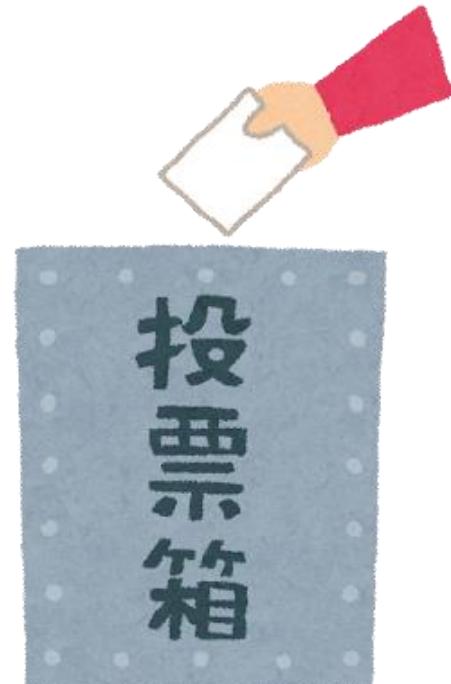
授業の様子

社会

3年生

現代の民主政治

選挙の課題解決のための
アイデアを考える

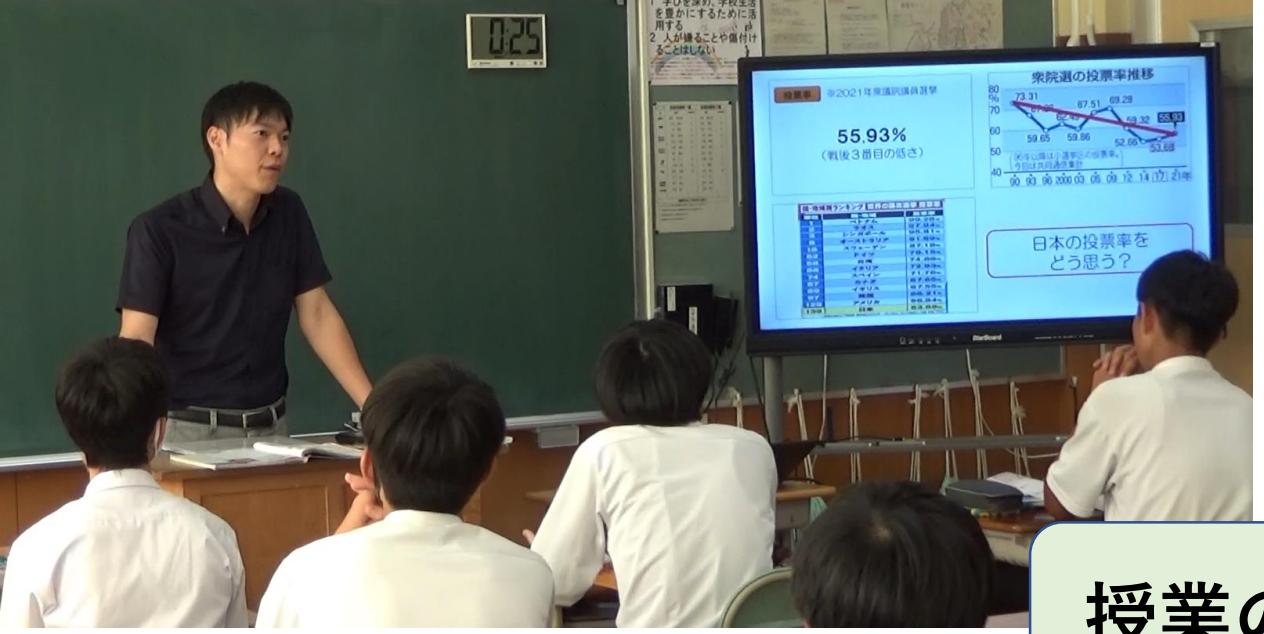


授業について

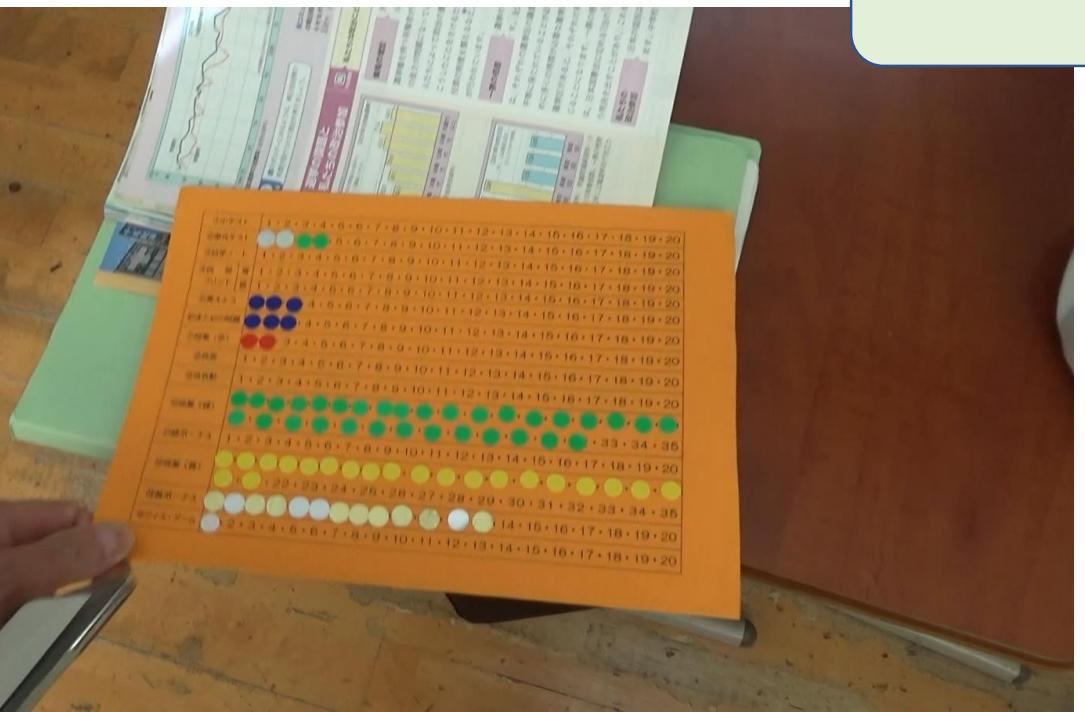
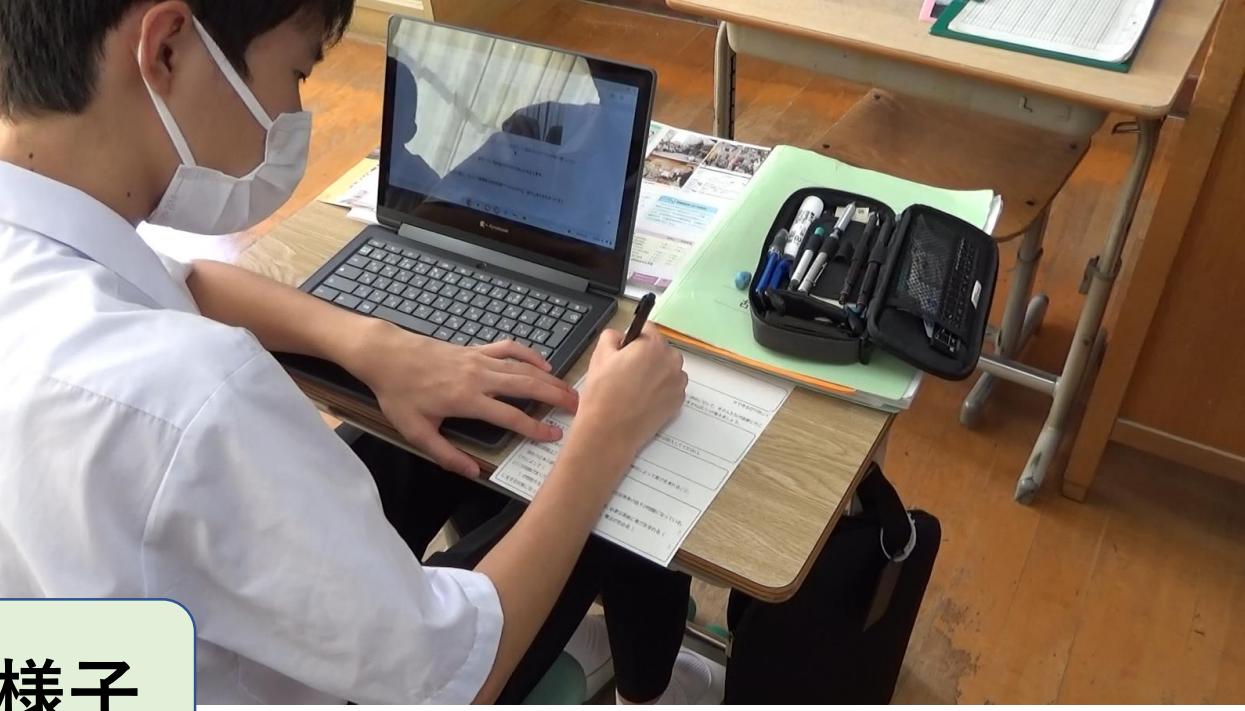
単元名	現代の民主政治
評価規準	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 若い世代(10~30代)の選挙に行かない理由を調べ、その中の1つに対して投票率を上げる効果的な方法を考えている。</p>
評価基準	<p><おおむね満足できる状況(B)></p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 調べた若い世代(10~30代)の選挙に行かない理由に対して、投票率を上げる方法を考えている。</p>
基準達成目標	おおむね満足できる状況(B)以上の生徒の割合が80%となることを目標とする。
Chromebookを使った学力向上の手立て	<ul style="list-style-type: none">Googleスライドに調べたことや考えたアイデアを入力させ、班別共有や全体共有させる。 【主体的に学習に取り組む態度】全体発表した生徒のアイデアの中から、最も良い(若い世代が選挙に行きたくなりそうな)アイデアを1つ選び、Googleフォームで理由と共に投票させる。単元シートをクラスルームで配信し、「単元を通して学ぶこと」として示されている問い合わせのヒントになることや、本時に学習した内容の振り返りを記入させる。

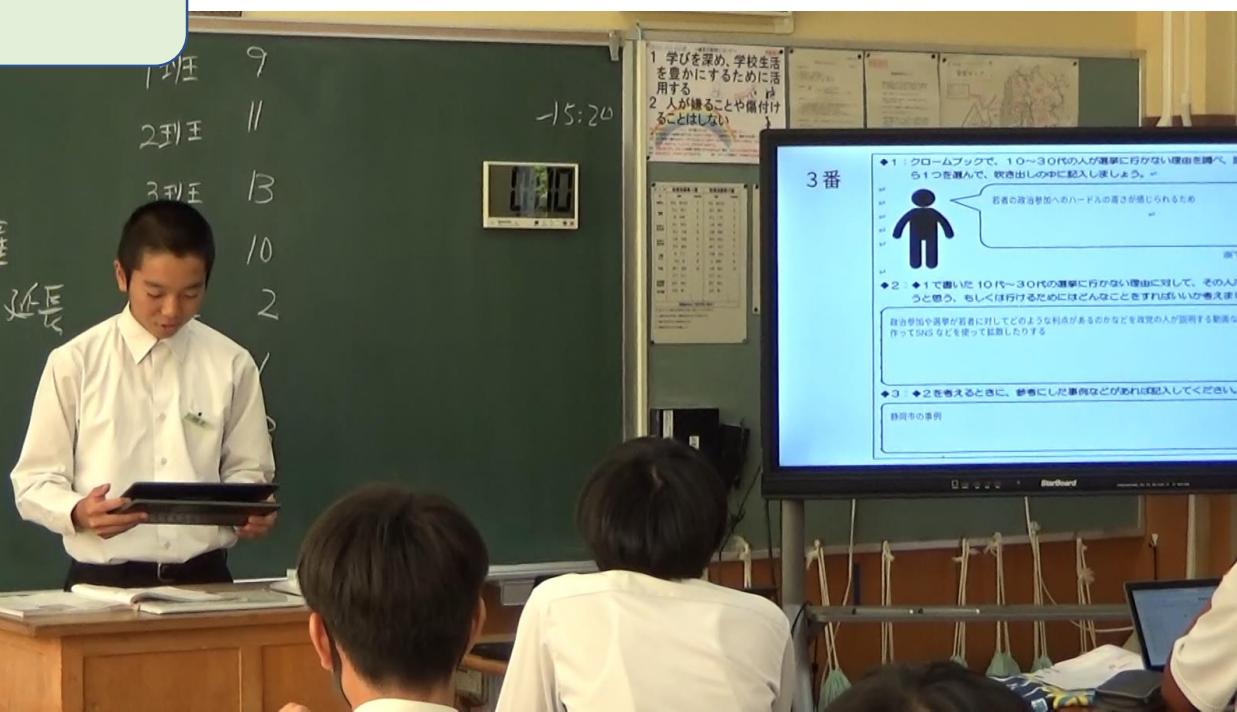
本時の流れ

	学習活動	指導上の留意点	Chromebookの活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の国会議員選挙の投票率が下落していることと、海外と比べて低いことを知る。 ○日本の投票率について考えたことを近くの生徒と共有し、発表する。 ○めあてを設定する。 <p style="text-align: center;">めあて：選挙の課題解決のためのアイデアを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○投票率のデータのうち、衆議院議員総選挙の投票率は、最新データ(2021年)を提示する。 ○世界の投票率との比較は、2017年実施時のもので行う。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○投票率低下の問題点を考える。 ○10～30代の若い世代の投票率が低いことの問題点を考える。 ○10～30代の若い世代が、選挙に行かない理由を調べる。 ○調べた理由に対して、10～30代の若い世代の投票率を上げるためのアイデアを考える。 ○班で交流させ、最も良い(若い世代が選挙に行きたくなりそうな)アイデアを1つ選ばせ、代表者が全体に発表する。 ○全体に共有された各班の代表者のアイデアの中から最も良い(若い世代が選挙に行きたくなりそうな)アイデアを1つ選び、理由と共にグーグルフォームに入力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○机間指導を行いながら、個別に解答を確認していく。 ○考えが出てこなければ、「立候補する側に立ったら」という視点で考えさせる。 ○メモや構想用にワークシートを配り、整理させながら考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○クロームブックで検索させる。 ○スライドに入力させる。 ○スライドに入力させる。 ○全体での発表時は、電子黒板にも映し出す。 ○グーグルフォームで投票を行い、得票結果を電子黒板で表示する。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学びを単元シートにまとめる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○クラスルームで課題として配信しているものに入力させる。



授業の様子





授業の様子

授業研究会の様子

社会科の授業は、公開授業とし、西泊中学校の先生全員と、小祿小学校の先生が参観しました。授業後、授業の内容や主体的な学び等について、意見交換を行いました。

